

第5回 富津市立青堀小学校改築基本構想・基本計画検討委員会会議 会議録

1 会議の名称	第5回 富津市立青堀小学校改築基本構想・基本計画検討委員会
2 開催日時	令和4年11月17日(水) 午後1時30分から午後2時58分まで
3 開催場所	青堀小学校4階 視聴覚室
4 審議等事項	議題 (1) 普通教室、体育館、諸室の規模について ・普通教室、オープンスペースの広さについて ・体育館アリーナの広さについて ・必要諸室数・面積の試算について (2) グループディスカッション テーマ「学校の配置を考えてみよう」
5 出席者名	(委員) 山下 秋一郎、城森 隆之、野尻 剛史、安藤 玲仁、榎本 孝 安室 良二、檜山 小百合、若月 忠光、平野 恵子、平野 勉  〈行政経営アドバイザー〉 千葉大学大学院 工学研究院 柳澤 要 教授  (事務局) 教育総務課長 中山 淳子 教育総務課施設係長 山下 知哉、教育総務課主任主事 鈴木 賛 教育総務課主任主事 鳥海 翔也、学校教育課主幹 宮崎 悟 都市政策課建築係長 神子 和子、都市政策課主査 河井 隆朗  (基本構想・基本計画策定支援受託者) 株式会社榎本建築設計事務所 高梨 修、人見 玲実 神野 マミ
6 公開又は非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部非公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 非公開の理由	(理由)
8 傍聴人数	3人
9 所管課	教育部教育総務課施設係 電話 0439-80-1348
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり



< 3 議題 >

それでは次に 3 議題（1）、普通教室、体育館、諸室の規模について事務局の説明を求めます。

事務局

（山下係長）

ご説明いたします。議題 1 では、これまでの児童や保護者、教職員へのアンケートや検討委員会でのディスカッションでいただきましたご意見を踏まえ、基本計画に示すもののうち、普通教室、体育館、諸室の規模についてご説明をいたします。

まず、普通教室とオープンスペースの広さについて、資料 1-1 普通教室レイアウト比較をご覧ください。左の平面図は現況の青堀小学校の普通教室を示ししており、教室面積は 8 m × 7.5m の 60 m<sup>2</sup>、廊下の幅は 2.3m です。教室内には旧 JIS 規格の幅 60cm × 奥行 40 cm の机を 40 人分レイアウトしております。これを新しい校舎では、中央と右の平面図のようにイメージをした計画と考えており、普通教室は現況よりも横幅を 1 m 広く確保し、さらに 5 m 幅のオープンスペースを設けております。また、普通教室とオープンスペースの間には可動間仕切りを設置し、開放することで一体的な利用やクローズしての利用も可能となります。

中央のイメージは、新 JIS 規格の幅 65cm × 奥行 45 cm の机を、40 人分、二つの机を隣り合った形で配置しており、右のイメージでは、新校舎完成時には全学年が 35 人学級となりますので、35 人分の新 JIS 規格の机を独立して配置しております。いずれのレイアウトも机の前後を 60 cm 確保し、座った状態で余裕があるように考えております。ロッカーについては、イメージ図では教室の後方に配置しておりますが、可動式ロッカーにすることで、オープンスペースや廊下への配置を検討することもできます。

2 枚目のイラストをご覧ください。こちらのイラストは文部科学省が有識者会議で取りまとめ、令和 4 年 3 月 30 日に公表

された、「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」最終報告の別添資料で、多様な学習活動を展開できる学習空間をイメージしたものです。先ほどお示しした青堀小学校の新校舎の教室も、このような空間を実現したいと考えております。

次に、体育館アリーナの広さについてです。資料 1-2 アリーナ広さ比較をご覧ください。青堀小学校の現況の体育館は、国が学級数に基づき示す基準面積を下回っており、児童へのアンケートや検討委員の皆様からも広い体育館にしたいという意見をいただいております。そこで資料では、アリーナ部分の比較をしております。上の平面図は現況の青堀小学校体育館のアリーナ部分を示しており、580 m<sup>2</sup>で、20m×29.04mとなっております。下の平面図は改築体育館のアリーナ部分を示しており、こちらは750 m<sup>2</sup>で、25m×30mとしまして、ミニバスケットボールコートが2面分確保できる規模を計画したいと考えております。この図ではアリーナ部分のみを表示いたしましたが、体育館に必要なステージや控え室等については、後ほど資料 1-3 の方で併せてご説明いたします。ここまで資料 1-1、1-2 よりお示しいたしました普通教室およびオープンスペース、体育館アリーナの規模を踏まえまして、資料 1-3 では必要諸室数と面積の試算をいたしました。

資料 1-3 をご覧ください。前回会議でご承認をいただきました、基本構想（案）4.の整備施設（諸室）の想定でお示しした部分を具体的にしたものとなります。まず資料表面は校舎の各諸室です。各諸室の面積の試算方法といたしましては、上段の見出しに記載いたしました、基準面積に対して何部屋分想定するかにより試算しております。普通教室では、室数 18 室、基準面積 68 m<sup>2</sup>、普通教室は単純に1個分のため、倍数 1.0 とし、18 教室分で合計 1,224 m<sup>2</sup>といった考え方になります。特別教室に

については、基準面積を普通教室と同様に 68 m<sup>2</sup>として、5 教室分、340 m<sup>2</sup>の中に必要な設備を設ける想定です。続きまして、オープンスペース。こちらは普通教室に付属するため、教室と同数の 18 室としております。

その他、特別教室などは基準面積を 64 m<sup>2</sup>として試算を行っております。その中で表の中ほどに、多目的室の記載がございますが、多目的室は普通教室と同じく基準面積の 68 m<sup>2</sup>の 2 分の規模として、低学年、中学年、高学年に各 1 室、合計 3 室を想定しております。また、今後児童数の増加に伴う教室の不足が生じた場合には、多目的室に仕切りを設け、普通教室として利用できるように想定しています。その他の諸室についても、学校の希望や利用実態をお伺いした上で規模を試算しました。このように試算いたしますと、一番下の行のとおり、校舎の床面積合計 6,887.70 m<sup>2</sup>となり、前回基本構想（案）でお示した文部科学省基準の面積 6,891.20 m<sup>2</sup>と同程度になります。

裏面をご覧ください。上から体育館ですが、アリーナに加え、ステージ、控室、放送室、器具庫、トイレ、更衣室、玄関ホール・通路、観覧スペースを加えると 1,230 m<sup>2</sup>となり、文部科学省基準に基づく 1,215 m<sup>2</sup>と同程度となります。

次に、地域連携施設は、地域連携室及び防災備蓄倉庫を想定し、150 m<sup>2</sup>としています。地域連携施設が体育館に付属する施設としては、視察に伺った八千代市立みどりが丘小学校の体育館のようなイメージになります。地域連携施設を体育館若しくは校舎に接続するかは、この後のディスカッションで皆様にもご検討いただければと思います。

その他、屋外施設としてはプール更衣室棟と、屋外倉庫または体育倉庫と一緒にになったものが 200 m<sup>2</sup>と想定し合計面積 8467.70 m<sup>2</sup>といたしました。

なお、実際にはまだ設計前の段階となりますので、各諸室の

	面積は全体の配置等により増減することとなります。
	以上で議題（１）、普通教室、体育館、諸室の規模についての説明を終わります。
平野委員長	はい。ただいま議題１についての事務局の説明が終わりました。今の説明に対して、皆様からご意見やご質問、確認点でも結構でございますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。はい、城森委員。
城森委員	普通教室のレイアウト比較のところ、中のロッカーは、可動式にするということですが、オープンスペースの方にある棚については、これは可動ではないのですか。
事務局 (中山課長)	はい、お答えいたします。これはあくまでもこの広さの中でレイアウトすると、このような想定であることを示しておりますので、可動式になるのかということもこれからの話ではありますが、できれば可動式でいろんな使い方ができるようにはしたいと思っております。
城森委員	みどりが丘小は可動式でしたし、可動式の方が使い勝手がいいのかなと思ひます。
平野委員長	よろしいでしょうか。他に何か皆様からございますか。はい、安藤委員。
安藤委員	共用部の児童用トイレの室数が 10 部屋になっているのですが、各学年の室数や、特別教室棟の方に何室かといった、具体的な室数は考へているのですか。
事務局 (山下係長)	はい、お答えいたします。こちらの 10 部屋というのはあくまでも想定ですけれども、10 部屋という数字は、男子トイレ 1 室で 1、女子トイレ 1 室で 1 という数え方としているのですが、例えば 1 フロアに 2 学年で広めのトイレを 1 つ、それが低、中、高学年各々で 3 つ、計 6 部屋になります。残りは、特別教室棟に設置を想定しております。合計面積は 416 m <sup>2</sup> になっているのですが、この規模は現青堀小学校のトイレのトータル面積より

平野委員長	<p>も上回っております。考え方としては、皆様のご意見いただいている広いトイレや便器を人数に対応してほしいというご意見がございますので、この面積の中で検討して参りたいと考えております。</p>
榎本委員	<p>よろしいでしょうか。他に何かございますか。はい、榎本委員。</p>
事務局 (中山課長)	<p>以前話があったかと思いますが、普通教室が 18 室ということで、あまり児童数が増えないという予測ではありますが、この予測の中では、これ以上教室は設置できないということでもよろしいですか。18 室以上は設置できないですか。仮に児童数が増えた場合には、対応方法や増築の余地はあるのでしょうか。</p>
平野委員長 城森委員	<p>はい、お答えいたします。児童数が増えた場合については、各フロアに多目的室を用意し、広めに設計をしたいと思っておりますので、生徒数が増えた場合にはそこを活用します。</p> <p>よろしいでしょうか。はい、城森委員。</p>
事務局 (中山課長)	<p>今の話の関連で、普通教室を増やさないといけなくなることはないのかなと思いますが、特別支援教室の方が増える可能性が高いと思うのですけども、同様に多目的室を活用するということですか。</p>
城森委員	<p>そのときの多目的室の使い方をよく検討しなければいけないと思うのですが、普通教室と同じように多目的室の活用を考えています。</p>
平野委員長 柳澤教授	<p>配置的に多目的室というのは、おそらく、普通教室の並びにあると思うので、できれば特別支援教室として間仕切って、活用できる教室が配置できると良いと思っています。</p> <p>柳澤教授お願いします。</p> <p>特別支援学級が増えたときに、多目的室で対応するという話は、おそらく特別支援教室の方に多目的室がないとそういった対応はできないので、想定上普通教室と同等の面積を想定して</p>

いますが、特別支援教室は、おそらく人数的には、まるまる1教室分が必要ではないと思いますので、特別支援教室は小さめにして、共有のオープンスペースと多目的室を併設するタイプが多いです。特別支援の子は、小さい教室にいただけではなくて、共有のスペースを使うことがありますので、それと併せて想定面積でいくのか、もしくは別々で特別支援学級用の多目的室というものもありますので、要検討かなというように思います。それから、多目的室が少人数教室兼用という形になっていては、この辺りも検討が必要で、多目的教室が2学年ずつに1つという想定が良いと思うのですが、多目的教室を少し小さく作って使うのは現実的にも難しいので、例えば1教室分ぐらいの大きさの部屋を二つに仕切れるようなものを、各学年に用意するパターンが多いので、あまり兼用を想定しないほうが良い可能性もあります。全体の面積があまり増える方向だと大変だと思いますが、多目的室と少人数学級と特別支援教室というのは、ある程度分けて考えるのが良いと思います。

あとは人数が増えたときに、せつかく新しい教育をやろうとしてもどんどん多目的室が無くなって行って余裕が無くなるのはまた困るので、そういった予測も必要だと思います。

ありがとうございました。事務局お願いします。

特別支援教室の説明が足りずに申し訳ございませんでした。柳澤教授がおっしゃってくださったように、340㎡の中で小さめの部屋をいくつか置きながら、特別な支援が必要なお子さんのためのクールダウンのお部屋や、教材等も多くあるというようなことも聞いておりますので、特別支援に必要なものをそのスペースの中でやりくりしていこうというふうに考えておりますので、部屋の方も十分検討して参りたいと思います。

教授の方から何かありますか。

少人数教室については、各学年の1教室分が理想なのです

平野委員長  
事務局  
(中山課長)

平野委員長  
柳澤教授

	<p>が、難しい場合は、2学年に1教室分くらいの少人数学級のスペースは確保しておいたらいいかもしれないです。</p>
<p>事務局 (中山課長) 平野委員長</p>	<p>はい、全体の中で検討させていただきます。</p> <p>ありがとうございました。その他何か皆様方からございますか。普通教室のレイアウトや面積表が出ておりますので、何かございましたら、お願いします。</p>
<p>榎本委員</p>	<p>普通教室のレイアウト比較が出ておりましたが、アンケートの回答にもあったように、現状の教室はすごく狭くて、この図面だけではうまく広さのイメージが沸かないのですが、現状より広くなるということですか。</p>
<p>事務局 (中山課長)</p>	<p>現状が一番左の図面で、四角の点線で示したのが、旧 JIS 機の配置です。真ん中と右側の図面は部屋の大きさが同じです。想定している普通教室の面積は、このくらいで計画しています。真ん中の図面は、今の児童数の 40 人学級で机を置くところという感じのイメージになります。少し余裕が無くなりますが、校舎が出来上がるタイミングでは、35 人学級が想定されておりますので、一番右の余裕を持った配置になるだろうと考えております。</p>
<p>榎本委員</p>	<p>それに加えて、オープンスペースがあればもう少し広くなりますよね。もう 1 点、普通教室のレイアウトパターンを出していただきましたが、アンケートや視察結果、検討委員会での意見を取り入れているということでしょうか。</p>
<p>事務局 (中山課長)</p>	<p>はい、部屋の面積につきましては、実際に児童のアンケートでも委員さんの意見でも広くという声をいただいておりますので、また、実際に教室の視察も踏まえて反映しております。</p>
<p>平野委員長</p>	<p>よろしいでしょうか。その他に何かございますか。はい、若月委員。</p>
<p>若月委員</p>	<p>広さ等については関係ないかもしれないのですが、アリーナ</p>

<p>事務局 (中山課長)</p>	<p>の空調をつけるかどうかというのは、何かお考えですか。</p> <p>全体の中で検討させていただきたいと思います。ご意見ありがとうございます。</p>
<p>平野委員長</p>	<p>その他に何かございますか。まだご発言いただいてない方もよろしければお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>はい、平野委員。</p>
<p>平野委員 事務局 (中山課長)</p>	<p>校舎は何階建てでお考えですか。</p> <p>はい、回答いたします。配置に関係していきますので、これからの検討になります。</p>
<p>平野委員長 安室委員</p>	<p>それでは他に何かございますか。はい、安室委員。</p> <p>普通教室のレイアウトについてですが、図1と図2ではどちらになるのですか。</p>
<p>事務局 (中山課長)</p>	<p>図1と図2は部屋の大きさは同じものをお示ししてあります。机を置いてみると、40人学級だと、真ん中の図のような机2台を隣り合わせないといけないかもしれないですが、想定された35人学級になると、このように縦横自由に歩くことができますということでお示したものですので、どちらかに決めていただくということではありません。</p>
<p>平野委員長</p>	<p>将来、1教室に入る児童の数が減るということがございます。他に何かございますか。それでは他にご意見、ご質問等もございませんので、議題(1)、普通教室、体育館、諸室の規模について終了いたします。</p> <p>続きまして議題(2)グループディスカッションに移りたいと思います。事務局、ディスカッションの流れについてご説明をお願いします。</p>
<p>事務局 (鳥海主任主事)</p>	<p>ディスカッションの流れを説明いたします。資料2をご用意ください。本日のテーマは、「学校の配置を考えてみよう」です。この説明の後、ディスカッションに移ります。今から机の上に置かせていただきますが、台紙とブロック模型を用意させてい</p>

いただきました。そちらを用いて児童動線や車両動線を考慮しながら、グループ内でディスカッションし、施設の配置案を検討していただければと思います。また、配置案の理由を、付箋に記入していただき、各テーブルに A3 用紙も配布いたしますので、そちらに貼り出すようお願いいたします。なお、今回の青堀小学校の改築はグラウンド側に新しい校舎を建築するため、敷地に制限があります。右側のグレーのエリア内で配置を考えていただけますようお願いいたします。

模型については、校舎が緑のブロック模型で、3つあるかと思います。1つ大きい正方形の校舎の模型は、1つで学校の校舎となります。長方形の模型については、2つで1つの校舎となりますので、自由に配置を考えていただければと思います。この他に、体育館、プール、地域連携施設、学童エリア、駐車場エリアを用意しております。駐車場エリアも40台のものと20台ずつ2つに分けたものがありますので、どちらかを使っていただいて、駐車場エリアの配置を自由に考えていただければと思います。

あと200mのトラックと、100m走のレーンを用意してあります。各模型については資料1-3、必要諸室数・面積を参考とし、校舎については3階建てを想定した広さでその他については、平屋建てもしくは平面を想定した広さになっています。これから配置を検討していただくにあたりまして、各グループで複数の案が出るかと思います。グループ内で比較できるように、事務局にて、カメラを用意しておりますので、配置案を撮影したい場合は事務局職員までお声掛けをお願いいたします。ディスカッション中に、グループ内で発表者を決めていただき、時間になりましたら、各グループの発表者から配置案の発表をお願いいたします。発表については模型を使用しながら、していただく方が説明や理解も深まるかと思うので、発表するグル

ープの机の周りにお集まりくださいますようお願いいたします。なお時間の都合上、配置案の発表については、各グループ2つまででお願いいたします。各グループの発表後、柳澤アドバイザーよりご講評いただき、ディスカッションは終了となります。以上でグループディスカッションの進め方について説明を終わります。

このまま続きまして、3つの配置パターンの例を説明させていただきます。ディスカッション参考資料の改築建物配置案AパターンからCパターンの計3枚をご用意ください。3パターン共に、児童動線、車両動線、工事車両動線、工事期間中の仮設運動場、駐車場エリアの位置、学童エリアの位置は同じとしております。また、地域連携施設は先ほど説明しましたとおり、体育館と隣接する形としております。各パターンの違いについては、建物の形がある程度一定である体育館、プールの配置場所を変えており、体育館に付随される地域連携施設についても体育館の位置に合わせて変更しております。

Aパターンでは、体育館とプールを東側、グラウンド側に設置しております。Bパターンは西側に、Cパターンは北側の国道16号側に配置しております。今回AからCの3パターンを提示いたしました。事務局より掲示したパターンに捉われず自由に考えていただければと思います。なおディスカッションに用いる台紙の図面の敷地境界線は、測量していないため正確なものではありませんので、あらかじめご了承ください。以上で説明を終わります。

平野委員長

事務局の説明が終わりました。説明に対しまして、何かご質問等がございますか。はい、柳澤教授。

柳澤教授

この資料では、特に論点について書かれていないのですが、おそらく考えなければいけないのは、例えば体育館は地域開放するか、グラウンドを利用する場合にそれらの開放施設を外部

の駐車場やアクセス等も含めてどのようにまとめるか、また、青堀小学校が避難所になったときに、体育館やグラウンドをどう使うか、校舎とどう関係させるかが大きな論点の1つかなと思います。それから、グラウンドと校舎の関係がスムーズであるかも一方であります。例えばAパターンであると、体育館が校舎にかぶさるような形になっているので、校舎とグラウンドとの関係があまり良くないということになります。また、体育館とグラウンドをどうするのも大きなポイントになります。例えば体育館とグラウンドで連携していて、利用しようとする、離れていると利用しづらくなりますので、グラウンドと校舎の関係をどうするのか、また、グラウンドと体育館をどうするか、それから通学等のアクセス、職員室等からの見守りやグラウンドへの視認性、先生が生徒に対してどういった管理ができるかという視点もあると思います。

それからもうひとつ重要だと思うのは、普通教室の日当たりです。3つの案は、校舎は北側に置いて、体育館は南側という配置が無いのですが、おそらくこれは日当たりの問題が理由だと思います。配置の仕方によっては、もしかするとそういった配置もあるかもしれないです。南側に校舎を配置すると、アクセスしにくいこともありますので、3つの案に捕らわれずに自由にディスカッションしつつ、問題を検討していただければ良いかと思います。以上です。

平野委員長

詳しいご説明ありがとうございます。それでは、今の教授の意見等も踏まえ、様々な配置を考えていただきながら20分間のディスカッションをお願いします。その後、各グループ2つ程度の配置案を発表していただきますので、20分経過いたしましたら事務局からお知らせいたします。それでは開始してください。

<p>事務局 (鈴木主任主事)</p>	<p>&lt;20 分間 ディスカッション&gt; 時間になりましたので、発表に移らせていただきます。</p>
<p>平野委員長</p>	<p>それではまだ議論が続いているようでございますが、今の意見の発表をよろしくお願ひしたいと思ひます。では、グループごとにどんな配置案が出されたのか発表していただきたいと思ひます。まず、山下校長先生のグループの案の方からご説明をお願ひしたいと思ひます。お隣のグループはご説明がありますので、こちらの方に移動をお願ひします。</p>
<p>安藤委員</p>	<p>ご説明いたします。こちらのグループでは、完全に児童と車両の入り口を別にしようということで、駐車をこちら（西側の国道 16 号線沿い）に、児童の入り口がこちら（北側）からというような完全分離という形を取りました。西日の問題もあつたのですが、入り口側に昇降口を持ってきて、学童、地域連携施設、体育館を近くに並べたような配置になっています。今の歩道橋や校門がどうなるかは、分からないのですが、駐車場は児童と完全に分離したような形が 1 つの案です。</p> <p>もう 1 つが、山下校長先生が提案した配置ですが、ここ（現プール付近）の畑を入りにさせていただく前提で、（グラウンド側に）駐車を 1 ヶ所に集めて、地域連携施設と体育館を併設し、学童を別棟で近くに配置する形となっています。2 つ目のパターンが現実的でないときは、1 つ目のパターンにした方がいいかなと思ひています。発表を終わります。</p>
<p>平野委員長</p>	<p>ありがとうございました。それでは、こちら班の案について、何かご質問等があればいかがでしょうか。</p>
<p>柳澤教授</p>	<p>講評になりますが、まず日当たりを考えるとすると、おそらく難しいのは、この敷地は横に長いので、採光をきちんと確保することは難しいと考えます。グラウンドとの関係を考えだすと、先ほど話にも出ておりましたが、西日が結構気になる様子</p>

<p>平野委員長</p>	<p>がありました。校舎の一般的な並行配置は、良いと思います。一方で、体育館がグラウンドと離れてしまうと、繋がりが悪いのかなと思いますしが、おっしゃっていたように、開放ゾーンをある程度独立してまとめるということであると、校舎のゾーンと体育館のゾーンを分けるというメリットはあるかもしれませんが。配置は、どちらも同じようになっていますので、2つ目のパターンだと、中庭のある口の字型の校舎配置も可能で、1つ目のパターンも案としては、まとまっているとは思いますが、各教室の環境条件を考えると、2つ目の方が作りやすいと思います。真ん中に共有の中庭を設ける使い方もできるので、面白い使い方ができるのかなと思います。以上です。</p> <p>ありがとうございます。他の委員の皆様は何かございますか。では、反対側のグループの説明をお願いします。</p>
<p>城森委員</p>	<p>ご説明いたします。1つ目の案は、B案を参考にして建物を配置しました。北側に国道16号線があって、出入りがあるので、近くに体育館や地域連携施設を配置して、校舎はほぼ現況と同じように、分棟の横並びで配置して、体育館に校舎から直接入れるような配置になっています。以上です。</p>
<p>平野委員</p>	<p>2つ目ですが、体育館は災害時等を考えて、グラウンドに近い方がいいかなということで、こういった配置になりました。プールはいろいろ見えたら困るのですが、そのあたりは建築の際に壁で遮る等上手くやってもらった方がいいのかなと思います。校舎を配置する際に日照問題等、柳澤教授からのアドバイスで、校舎を斜めにした方がいいじゃないかということで、こういった配置になりました。そうすると、真ん中のスペースなど空いたスペースも何かに使えるかなということで提案させていただきました。以上です。</p>
<p>平野委員長 柳澤教授</p>	<p>ありがとうございます。柳澤教授、ご講評をお願いします。</p> <p>2つ目の配置案は面白いと思いました。L型の校舎にする</p>

と、その間にできる広場が結構気持ちのいい感じになっていて、グラウンドにも繋がっているし、出入口側に繋がっていることで、なかなか魅力的だと思いました。一方で、L型は一部の教室が西側を向いてしまうので、校舎の配置を回転させれば、ちょうど教室が南向きになり、意外と環境も悪くないのかなと思います。先ほど話したように、体育館とグラウンドの関係を保ちつつ、校舎も校庭と離れないようになっていくということで、2つ目の案は結構面白いなと思いました。一方で、校舎を斜めに配置したことによってできる角の敷地の使い方が難しいのですが、南向きなのでビオトープにしてみるとか、屋外空間も広場や緑を置いてみたり、少し展開できる案なのかなと思います。

1つ目の案は山下委員のグループに近いと思うのですが、開放ゾーンが明確にできるので、校舎棟（1）、（2）で分棟タイプの配置案ですが、北側の校舎（1）はおそらく特別教室群の開放も想定した校舎で、南側の校舎（2）は日当たりや環境を考えている普通教室がメインの校舎で、今は同じボリュームになっていますが、もしかすると校舎（2）の方は、少し高さのある、4階建てになったり、もしくはもう少し長細い校舎にして、校舎（1）を小さくするということもあり得るのかなと思います。非常に教科書的なゾーニングで、こういった案もかなり現実性が高いのかなと思います。平行配置してそれぞれの教室の環境を守りつつ、北側に開放する教室を持ってきて、あまり開放できない、安全管理が必要な普通教室は南側に配置するこの案はあり得るのかなと思います。

プールの配置は皆様の困る点だったと思うのですが、体育館の上に乗せる例もあるのですが、構造上、コストが上がるので無理に複層化するっていうことは現実的には難しい部分もありますが、プールの使用時期って非常に限定的なので、あんま

	<p>りプールの配置に惑わされないでプールの在り方も一緒に、検討すべきだと思います。以上です。</p>
平野委員長	<p>ありがとうございました。それでは、こちらの方で何かご質問等ございますか。はい。安藤委員。</p>
安藤委員	<p>教授にご質問で、プールの配置についてですが、体育館の上や2階ではなくて、地下に設けることはできるのですか。</p>
柳澤教授	<p>地下もありますが、地下は屋上に乗せるより、コストがかかります。品川などの、東京都内とかだとよくそういうパターンもあります。グラウンドの下にプールと体育館を入れて、上をグラウンドで使っているという、敷地がかなり狭く、地価が高い所であれば、事例もあるのですが、この辺だとなかなか難しいのかなと思います。ただ、その体育館の上にプールを乗せるというのは、案としてはあると思いますが、コストアップになりますし、体育館には柱を設けられませんで、プールを乗せるとかなりボリュームが大きくなるので、そういった面を考えなければいけないです。プールのためにそこまでコストをかけるかというのもあります。</p> <p>今、静岡の方で行っている事業だと、案がいくつかあって、体育館の上にプールを乗せるパターンと、廃校にした学校の体育館のプールだけバスで通って利用するパターン、そもそもプールを作らないパターン、あとは校庭にプールを作るパターンなど色々なパターンがありますが、校庭に作るパターンは校庭が狭くなってしまうので、廃校になった古い学校のプールを使うという方向で、ほぼまとまっているのですが、考え方は色々あると思います。改めて議論していく形になるかと思っています。</p>
平野委員長	<p>ありがとうございます。他に何か皆様からご質問等ございますか。それでは、特に無いようですので、席にお戻りください。</p> <p>ディスカッションありがとうございました。</p>

<p>事務局 (中山課長)</p>	<p>&lt;次第4 その他&gt;</p> <p>次第4、その他ですが何か委員の皆様から何かございますか。はい。事務局何かありましたらお願いします。</p> <p>今回の会議開催のお知らせの際に、連絡事項として記載いたしました。皆様のご協力により事務局として予定していた内容をつつがなく整理することができています。また、当初のスケジュールでは基本計画案の提示を2月としておりましたが、こちら作業が順調に進んでおり、1月に前倒しし、皆様にご提示することができる見通しとなっております。つきましては、事務局として会議スケジュールの変更をお諮りします。皆様のご承認が得られましたら、12月には会議を開催せず、1月に開催し、基本計画案のご議論をいただければと思います。その後、2月に基本構想・基本計画案の全体のご議論と、この検討委員会の成果として教育委員会に報告を行っていただきますのでそれについて検討していただく予定でおります。まだまだ議論が足りていないのではといったようなご希望がありましたら、ご意見を頂戴したいと思いますが、事務局としては12月の予定を1月に変更する旨の提案をさせていただきますので、ご審議のほどよろしくお願いたします。以上です。</p>
<p>平野委員長 榎本委員</p>	<p>委員の皆様から何かございますか。はい、榎本委員。</p> <p>次の1回が最終回になってしまうことですか。そうでしたら、12月は省かないで、今までの会議を具体的にまとめたものを、12月で提示してもらいたいです。</p> <p>もう1点あります。天羽中学校を検討会議で、決まったことを基に建設されたのですが、それについて要望が反映できたか、反省点、良かった点を具体的にまとめて、次回の会議にまとめてもらいたいです。</p>
<p>事務局 (中山課長)</p>	<p>はい、お答えいたします。説明が足りず申し訳ございませんが、12月には会議を開催しませんが、その分1月に開催して、</p>

	<p>もう1回が2月の計2回を今後予定しております。回数を減らしましょうというご提案をしたわけではなく、開催の時期をずらすという意向です。議論いただいた結果を、基本構想・基本計画にまとめ、1月の検討委員会でご提示し、議論いただきたいと考えております。また、ご要望がありました天羽中学校の件ですが、また後でどのような項目でまとめればいいのか確認させていただきますが、ご提示させていただければと思います。以上です。</p>
榎本委員	<p>勘違いして申し訳ございません。次回1月の検討委員会では、今までの議論を具体的にしたものを提示してもらいますよう、よろしくお願いします。</p>
平野委員長	<p>その他皆様から何かございますか。それでは、他にご質疑等ないようでございますので、今後の会議日程につきまして、事務局から提案があったとおり、会議スケジュールを見直し、次回、第6回会議を1月に開催するということの、賛成の方の挙手を求めます。</p> <p>(委員一同挙手)</p>
榎本委員	<p>はい。挙手全員であります。今後の会議については、事務局の説明のとおり、次回を1月に開催するものといたします。なお、次回の会議の詳細な日程については、決定次第、事務局から各委員にお知らせをいたしますのでよろしくお願いいたします。委員の皆様から他に何かございますか。はい、榎本委員。</p>
平野委員長	<p>報告です。区長会の方で視察要望をさせていただきましたが、バスの手配と相手方の学校より、コロナもあり、受け入れられないということでしたので、区長会の視察は中止となりましたので、ご報告させていただきます。</p> <p>ご報告ありがとうございました。他に何かございますか。それでは以上をもちまして、全ての議事を終了といたします。</p> <p>円滑な議事進行にご協力いただきまして、誠にありがとうございます</p>

<p>柳澤教授 平野委員長</p>	<p>ございます柳澤教授におかれましても、長時間にわたりありがとうございました。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは進行を事務局にお返しします。</p>
<p>事務局 (鈴木主任主事)</p>	<p>&lt;次第5 閉会&gt;</p> <p>それでは以上をもちまして、第5回青堀小学校改築基本構想・基本計画検討委員会を閉会いたします。長時間にわたり、ご議論いただきありがとうございました。</p>